



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

利用者・家族・地域の事業所と共同した「介護ウェーブ2009」の取り組みを具体化しよう!

「介護110番」に27人の相談（介護に笑顔を！北海道連絡会） 「4月改定でサービス使えなくなった。施設も空きがない」など、深刻な相談が相次ぐ

5月28日、「介護に笑顔を！」道連絡会が、「介護110番」を実施しました。朝10時の開始と同時に3本の回線がいっせいに埋まり、次々と相談の電話が寄せられ、1日で27人から相談がありました。

4月改定によって「ヘルパーの時間が1回2時間から1時間半に短縮されて、これでは時間が足りない」「サービスを減らさなくてはならなくなつたが、家族も自分たちの仕事で精一杯で大変。施設も空きがないといわれ、困っている」など、具体的に被害を受けているご家族からの相談が多く寄せられました。また、「元看護師で、3年前に退職して母親の介護をしているが、ストレスがひどい。話を聞いてほしい」と家族の負担が依然大きいことが伺える電話もありました。また、「声を出す入所者の口にガムテープを貼っている」「虐待を指摘したら、職場でいじめに遭っている」など、職員から告発の電話もありました。すぐに道庁に通報して対応を取るよう求めました。「母親が認知症なのではないかと思う。どうしたらいいか」「認定審査の結果『要支援1』といわれたが、『要支援』とは、なんのことか」「申請をしたら、居宅介護支援事業所を探すように役所からいわれたが、どうやって探すのか」などなど、よくある疑問・悩みに応える体制が不十分であると考えられる相談も減っていません。午前10時から午後7時まで、勤医協在宅・いつくしみの会・北海道勤医協・福祉保育労・北海道民医連からケアマネジャーら10人が相談にあたりました。連絡会ではこの結果を、明日30日の市民集会で報告することにしています。（北海道民医連 NWES 2009.05.29 より）



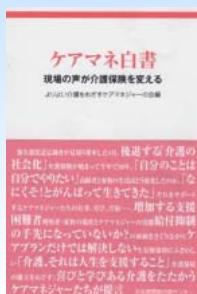
【事務局短信】 STOP! 介護崩壊 DVD「要介護認定制度の主治医意見書の書き方について」発売中！（定価700円）

2009年4月1日に福岡県民医連が主催した学習会を記録したものです。全日本民医連介護・福祉部の山田智部長の講演から、「主治医意見書の書き方」のみを抜粋して編集（20分）しています。注文は（株）保健医療研究所まで。

（企画・製作：福岡県民医連／監修：全日本民医連）



STOP! 介護崩壊 大阪社保協「ケアマネ白書」を発行！（定価：1,400円）



大阪社保協が、書籍「ケアマネ白書」を発刊。介護保険が始まって10年、高齢者と家族の生活はどう変化したのか、それをサポートするケアマネジャーの仕事、喜び、苦悩等、利用者・家族の現状とケアマネジャーの実態の両面をさぐりながら、生存権保障にふさわしい介護保障の確立を考える内容となっています。注文は大阪社保協まで。

（四六版 並製本 264ページ 送料は実費）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp